湖南高校だより

福島県立湖南高等学校
信南通
発行責任者
校長
秦　尚志

伝統を受け継ぎ、前へ

湖岸清掃

七月三日（火）湖岸清掃を行いました。生徒たちは、六月に猪苗代の水環境について学んだことを胸に、熱心に清掃作業を行いました。湖岸清掃は昭和四十八年から続いています。美しい猪苗代湖のために次年度以降にもつないでいきます。

歴史・文化・民俗

七月十二日（木）に、湖南町の歴史を研究されている橋本勝雄氏を講師としてお招きし、湖南町の歴史と文化、民俗について学びました。生徒の感想を一部紹介します。

「私は今まで十六年近く住んでいた湖南のことでも知らない歴史や文化などがあることが分かり驚きました。竹を割って作ったスケート靴や布に藁を巻いた虫よけなどの道具があったなんて知らなかったので、良い経験になりました。日本の縮図とも言える自然豊かで歴史ある湖南町を大切にしたいと改めて思いました。」（二年男子）

保健講話

７月５日　医療介護病院より
宗形初枝先生をお招きしました

ケータイ・スマホ安全教室

七月十七日（火）に今年度二回目のケータイ・スマホ安全教室を行いました。今回はＮＴＴドコモ東北支社より講師の先生をお招きしての講座で、ＳＮＳ利用に伴う危険性や問題点について全校生徒で考えました。生徒の感想を一部掲載します。

「今の私たちは、ネット上やコミュニケーションアプリでの会話が普通という考えになってきてしまっています。しかし、自分の考えを伝えるためには目を見て言葉を交わすことが本当に大切なことだと思いました。」（一年女子）

誠実校　志高　自律

訓　勤勉　聡明　協同

リレートーク

「世の中は理不尽なことばかりだ。」これは、私の恩師がよく言っていた言葉です。理不尽とは「物事の筋が通らないこと」という意味の言葉です。わかりやすく言えば「無茶苦茶なこと」という意味です。

例えば、「部活で毎日一生懸命練習してもなかなか思うような結果が出ない。」「結果を出しているのになかなか他人に信用してもらえない。」など、「こんなに頑張っているのになんでだよっ・・・」と思うことは誰でも経験があることだと思います。そんな時、みなさんはその結果に対してどのように考えますか？おそらく「もうやってらんない」、「なんで自分だけ・・・」と考えると思います。そんな時、自分を見つめ直してみてください。「本当はもっと頑張れたのではないか。自分に足りない部分があったのではないか。」と。私自身、高校で野球部に所属し、毎日朝から晩まで野球漬けでした。レギュラーを掴んで結果を出し続けても、たった一打席ダメだっただけで、ずっと守り続けてきたレギュラーの座を奪われてしまうことが何度もありました。はじめのうちは、「なんで俺ばっかり・・・」と腐りかけてしまっていました。そのせいか、普段の練習態度が悪くなってしまい、先輩や同級生から怒られました。それからの練習では、「監督を結果で見返してやろう」と普段の練習から死にものぐるいで必死に声を出し、必死にプレーをし続けました。その結果、再びレギュラーとして試合に出させてもらえました。何が言いたいかというと、「逆境に強く生きてほしい」と言うことです。生きていく上で自分の思い通りにならないことがほとんどです。人間の本性が出るのは逆境に遭遇した時だと思います。そんな時、「くそっ、絶対認めさせてやる」「絶対結果を出してやる」と思える人になってほしいです。楽を求めたら、苦しみしか待っていません。その行動が運命を変えます。（渡邉康介・わたなべこうすけ・学習支援員）

★１学期末考査学習時間トップ5★
（テスト期間１０日間の合計）

1位	YSさん	79．0時間
2位	KOさん	71．0時間
3位	MSさん	66．5時間
4位	SIさん	62．0時間
5位	MSさん	60．0時間
学校全体平均		24．0時間

就職活動本格化！

７月２０日　３年生を対象に
就職準備講習を行いました

学校ホームページのメニュー「湖南高校だより」からも見ることができます。PC版でご覧ください。